

令和4年度 入学試験問題

第1時限

(9時30分～10時15分)

国語

(注 意)

- 1 「始め」の合図があるまで、この表紙以外のところを見てはいけません。
- 2 問題用紙は、10ページで、問題は5問です。
- 3 「始め」の合図があったら、まず解答用紙に受験番号・氏名などを記入し、次に問題用紙のページ数を調べて、異常があれば申し出なさい。
- 4 答えは、必ず解答用紙に記入しなさい。
- 5 印刷がはっきりしなくて読めないときは、だまって手を挙げなさい。問題内容や答案作成上の質問は認めません。
- 6 「やめ」の合図があったら、すぐに筆記用具をおき、解答用紙は裏返しにして、試験官の指示に従いなさい。

都城東高等学校

一 次の問一から問四に答えなさい。

問一 次の五つの単語を国語辞典で配列される順に並べ替えなさい。

品性 秘密 ヒント 品格 品物

問二 次の(1)～(6)のカタカナ語の意味を選んで、その記号を書きなさい。

- | | | |
|------------|-------------|-----------|
| (1) デマゴギー | (2) カテゴリー | (3) フォルム |
| (4) コントロール | (5) ステレオタイプ | (6) アレゴリー |

【意味】

- | | |
|---------------------|-----------------|
| ア 形、形式、形態。 | イ 紋切型、決まりきった形式。 |
| ウ 同一のものが属する分類。 | エ 制御、調節。 |
| オ 手段、媒体。 | カ 比喩、たとえ話。 |
| キ 事実に反する扇動的で謀略的な宣伝。 | |

問三 二重傍線部1～5の動詞の活用形を語群から一つずつ選び、記号で答えなさい。

泣いている君は、流れる涙を見せないため、わざと「あっちへ行け！」と叫ぶ。

- 【語群】 ア 未然形 イ 連用形 ウ 終止形 エ 連体形 オ 仮定形 カ 命令形

問四 次の(1)から(10)の傍線部の片仮名を漢字に直しなさい。

- | | | |
|-----------------------|-------------------|-----------------------|
| (1) 師匠にケイトウする。 | (2) 校庭のタイジユの影に入る。 | (3) 学校からキンキユウの連絡があった。 |
| (4) お化け屋敷でキョセイを張る。 | (5) リンキオウヘンに対応する。 | (6) 牛肉がコげてしまった。 |
| (7) 事業がキドウに乗る。 | (8) 体操服をフクロに入れる。 | (9) 彼はカロやかに踊る。 |
| (10) 君が負けるのはインガオウホウだ。 | | |

問一 二重傍線部ア、オの片仮名を漢字に直しなさい。

問二 傍線部Aとあるが、なぜそのように言えるのか。本文中の言葉を使って次の文の空欄に入るように十字以内で答えなさい。

() というサインになるから。

問三 傍線部Bとあるが、その理由として最も適切なものを次の選択肢から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 国民に好意的に受け入れてもらうためには表情が重要な道具になるから。
- イ 大勢の人々を前にしたときに感じる緊張を、表情によって隠すことができるから。
- ウ 大統領になるためには、国民の気持ちを知るための必要なサインは、表情に出さなくてはいけないから。
- エ 大統領として時と場合によって違う表情を出すことを人々に求められているから。

問四 〔Ⅰ〕〔Ⅳ〕に入れる言葉の組み合わせとして最も適切なものを次の選択肢から一つ選び、記号で答えなさい。

- | | | | | | | | | |
|---|---|------|---|------|---|------|---|-----|
| ア | Ⅰ | やはり | Ⅱ | もつとも | Ⅲ | それとも | Ⅳ | しかし |
| イ | Ⅰ | やはり | Ⅱ | もつとも | Ⅲ | しかし | Ⅳ | また |
| ウ | Ⅰ | そして | Ⅱ | やはり | Ⅲ | しかし | Ⅳ | また |
| エ | Ⅰ | もつとも | Ⅱ | やはり | Ⅲ | あるいは | Ⅳ | しかし |

問五 「X」に共通して入る言葉として、最も適切なものを本文中から二字で抜き出さない。

問六 傍線部Cとあるが、筆者の提案をまとめた次の文の空欄に入る言葉を、本文中の語句を参考に、十字以内で答えなさい。

相手に好意や感謝を伝えるために（ ） という提案

問七 傍線部Dとあるが、これと同じ内容を表している部分を本文中から一文で探し、最初の八字を抜き出さない。(句読点も字数に数える。)

問八 「Y」に入ることわざとして最も適切なものを次の選択肢から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 目には目を歯には歯を イ 目は口ほどにものを言う ウ 目の色を変える エ 目からうろこが落ちる

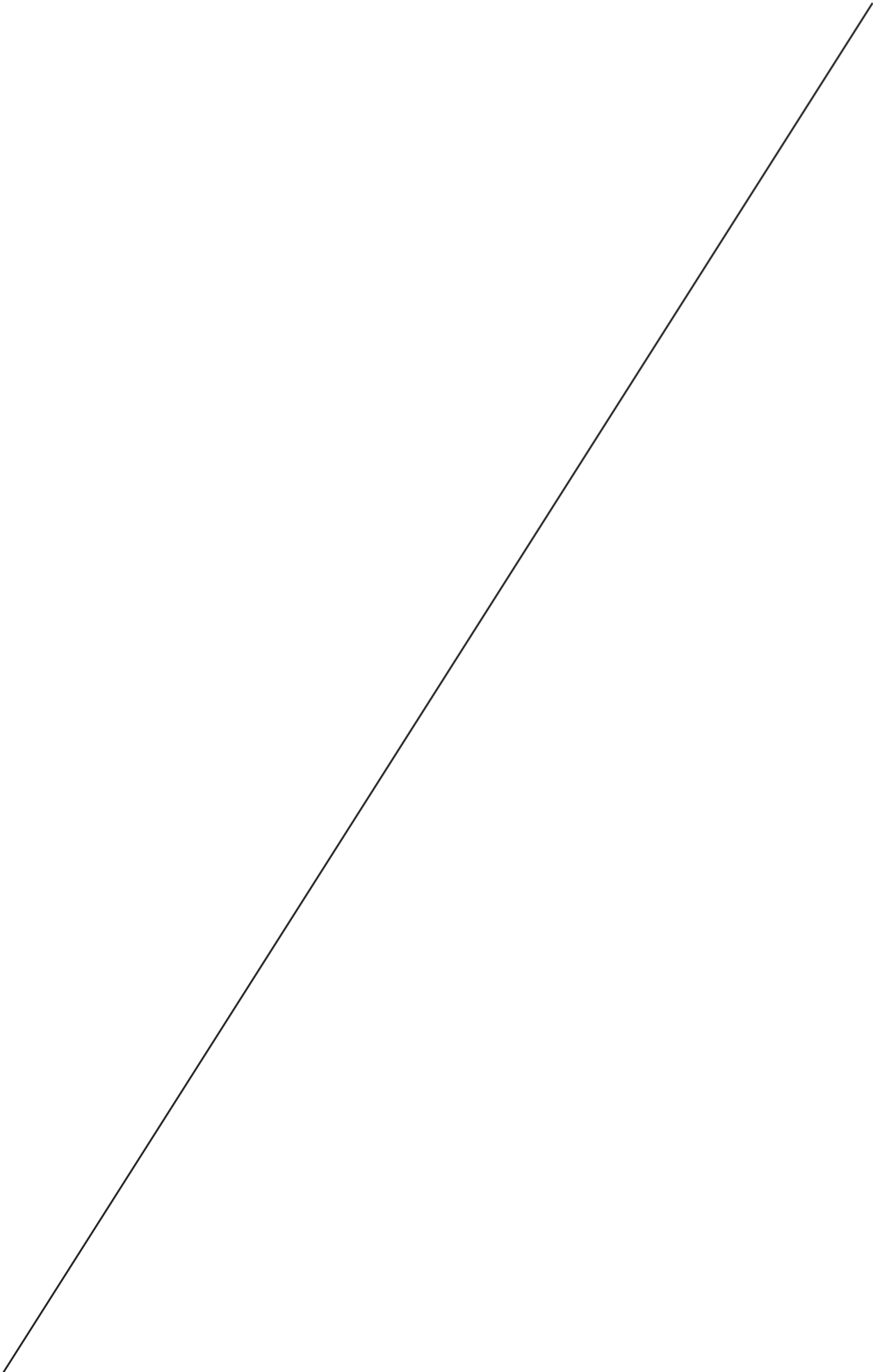
問九 傍線部Eとありますが、このように言われているのはなぜか。その理由をまとめた次の文の空欄に入る言葉を、本文中から二字以内で抜き出さない。

人の感情を知るためには（ ） が思っている以上に大切であるから。

問十 次のそれぞれの文について、本文で筆者が言っている内容とあっているものには「○」を、合わないものに「×」をつけなさい。

- ア 表情よりも言葉の方が自分の考えを示す最も有効な手段となる。
- イ 表情を出さない文化は表情を出す文化に劣っている。
- ウ 人の感情を知るためには、顔の表情を表す顔の全ての部分は大切ではない。
- エ 相手を見ながら話すことは相手を説得する場合に効果的である。
- オ 表情に関する各国の文化を知る事は大切である。

二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。



問一 二重傍線部アのオの漢字の読みを書きなさい。

問二 傍線部Aとはどのような話を指しているのか。五字以内で答えなさい。

問三 傍線部Bとは、どういう「言葉」か。最も適切なものを次の選択肢から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 妻が自分に対して同情のないことになり、何も信じられないと絶望して言った言葉。
- イ 妻が自分に対して同情のないことに怒りつつ、冷静に受け止めたふりをして取り繕って言った言葉。
- ウ 妻が自分に対して同情のないことを確信して、相手への憎しみの極みにいたって言った言葉。
- エ 妻が自分に対して同情のないことに失望しつつも、仕方のないこととあきらめて言った言葉。

問四 【C】に入る最も適当な言葉を、次の選択肢から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 愛情
- イ 見栄
- ウ 拒絶
- エ 敬遠

問五 傍線部Dは、津田のどのような気持ちの表れか。最も適当なものを次の選択肢から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 岡本に寄せる期待感
- イ 実家に抱く劣等感
- ウ お延に対する不信任感
- エ 津田の持つ優越感

問六 傍線部Eとあるが、妻の発言を聞いた津田が驚いたのはなぜか。その理由をまとめた次の文の空欄に入る言葉を、二十字以上、二十五字以内で答えなさい。

() を、若い細君が知っていたから。

問七 傍線部Fとあるが、誰に何をさせるのか。十五字以上、二十字以内で説明しなさい。(句読点も字数に数える。)

四 次の問題を読んで、後の問いに答えなさい。

ねずみの大勢集まりて談合しけるは、「いつも、かの猫といふいたづら者に捕らるる時、千度悔ひても、その詮なし。かの猫、声を立てるか、足音でもすれば、かねて用心して、捕られぬ覚悟をもするなれども、密かに近寄りて来るゆゑ、折々油断して捕らるるなり。いかにせば良からん」と言ひければ、一つのねずみ、進み出でて申しけるは、「それには何より良き手段あり。かの猫の首へ鈴を付け置かば、たとへ足音はせずとも、あなたに油断はあらず」と言ふにぞ、皆々、「もつとも然るべし」と言ひけるが、大勢のねずみの中より、誰あつて、「猫の首へ鈴を付けに行かう」と言ふ者なければ、つひに、その談合は止みにける。

そのごとく、人も後先の勘弁なく、了簡ありげに口をたたく者は、ねずみに等しく、つひには恥をかくものなれば、「口は禍ひの門」と思ふべし。

(出典：『伊曾保物語』)

【口語訳文】

【A】が大勢集まって相談したことはない。「いつもあの【B】という悪賢い者に捕られる時、何度悔やんでも、その甲斐がない。あの【B】が、声を立てるか、足音でもすると、【A】は前もって用心して、捕られない心づもりをするけれども、【B】が密かに近寄りて来るため、【A】は時々油断して捕られるのだ。どうしたらよいだろうか」と言ったところ、一匹の【A】が進み出て申し上げたことは、「それには何より良い手段がある。あの【B】の首へ鈴を付けて置けば、たとへ足音がしなくても、こちらが油断することはないだろう」と言うが、「いかにしてもそうするのがよい」と言ったが、大勢の【A】の中から、ただの一匹も、【B】の首へ鈴を付けに行こう」と言う者がいないので、ついに、その相談は終わってしまった。

そのように、人の後先をわきまえず、考えありげにしゃべる者は、【A】に等しく、しまいには恥をかくものなので、「口は禍ひの門」と心得るべきである。

問一 二重傍線部ア、エの読み方を、すべて現代仮名遣いに直してひらがなで書きなさい。

問二 傍線部Aの口語訳として最も適当なものを、次の語群から選んで記号で答えなさい。

【語群】

- ア こちらが油断するにちがいない。
- イ こちらが油断することはないだろう。
- ウ こちらが油断してしまうだろう。
- エ あちらが油断するからだろう。
- オ あちらに油断してほしい。

問三 傍線部B「然るべし」の意味を、後の語群から選んで記号で答えなさい。

【語群】

- ア 自然だ
- イ 大変だ
- ウ そうするのがよい
- エ 立派だ
- オ 恐れるはずだ

問四 口語訳文の【A】【B】に入る登場人物を、次の語群から選んで記号で答えなさい。

【語群】

- ア ねずみ
- イ 犬
- ウ 猫
- エ うなぎ

五 次の空欄に言葉を入れて自作のことわざを作成し、後の条件に従って解説しなさい。

時は ()

- (1) あなたのこれまでの経験や実感に基づくことわざにすること。
- (2) 二段落構成にして、一段落目にはあなたが作成したことわざを明示し、二段落目にはそのことわざを作成するのにどのような経験や実感がもたらしたのか具体的に書くこと。
- (3) 十一行以上、十三行以内で書くこと。(句読点を含む。)
- (4) 題名と氏名は書かないこと。
- (5) 正しい原稿用紙の使い方を行うこと。
- (6) 小数点を伴う数字は算用数字で書き入れ、それ以外は漢数字で書くこと。
- (7) 文体は「だ・である」体で書くこと。